

勝呂 文洋さん



京都「萬亀樓」、大阪「和光庵」、
ホテルセントノーム京都などで修業を積み、1997年ホテルセンチュリー静岡の開業時より和食調理シェフに。2012年に総料理長就任。走り・匂・名残の食材を散りばめた四季を感じられる料理と、“一期一会”的気持ちを大切に、お客様を温かくもてなす。

仕事人紹介

■材料(2人分) 焼津ミニマグロ1柵、春野菜(はす芋)たけのこ・長芋・わらび・ラディッシュ各適量、醤油(浜名湖川のり・わさび・清け・大根おろし)各少々、塩適量

■作り方 所要時間約20分(たけのこのわらびの下処理・焼き時間を除く)
 ①はす芋は皮をむき、縦半分に切って薄切りに。たけのこはとぎ汁でよく水にさらし、薄味のカツオだしで炊いて薄切りに。長芋は長さ5cm程度のやり状に切る。わらびはあく抜きをして薄味のだし汁に漬けておく。ラディッシュは薄切りにして中をくり抜く。
 ②マグロを縦に半分に切って塩を振り、バーナーで4面を炙る。
 ③②を1.5cm程度の厚さ(5切分)に切って器に盛り、①の春野菜を彩りよく盛り付ける。
 ④マグロの上に5種類の薬味を適量ずつのせて出来上がり。しようゆをつけてどうぞ。

ポイント

- 氷の上で炙ると焼き過ぎを防ぎ、早く冷まることができます。
- バーナーがない場合 1.塩を振って10~20分おきなじませる。
 2.熱湯にさっとぐらせたら冷水で冷やす。
- 使用した野菜以外にもシャキシャキとした食感の野菜で代用可。

米穀類 (1人分) エネルギー:164kcal 食塩相当量:1.8g (栄養成分計算県中部健康福祉センター健康増進課)



焼津ミニマグロは、南半球の低水温海域で漁獲され、焼津魚市場が取り扱う天然のミニマグロ。身が引き締まっているのが細かく、甘みがあって味が濃いことが特長です。焼津ミニマグロを使い春野菜と薬味でアレンジを加えた料理を、ホテルセンチュリー静岡総料理長・日本料理花凜料理長の勝呂文洋さんに作っていただきました。

作り方動画
公開中!



YouTube

焼津ミニマグロの炙り／5種類の薬味と春野菜



食の都

仕事人へ

地

産

地

消

レ

シ

ビ